



みみのおたより

No.3

結露 に要注意！！

最近、「補聴器が聞こえません！」「変な音がします！」「故障でしょうか？」という訴えを聞くことがありました。いつもよりも音がずいぶん小さかったり、変な雑音が大きかったり・・・。

故障でしょうか？ いえいえ、イヤモールドのチューブの中、補聴器のフック部分をよ〜く見てみると…水滴がたまっていました！



夏は汗をかきやすく、また湿気が多い時期もあるのでみなさん気をつけて補聴器カバーを着けたり乾燥機にかけたりしていると思います。

でも、冬も気をつけないといけません。家の中で暖房を付けていて、窓に結露（水滴）がたくさん付いているのを見たことがありますよね。

補聴器にも同じような現象が起きます。暖かい場所から寒い場所に移った時に、チューブやフックの中の空気が急に冷やされて水滴ができます。写真の黄色い○で囲った部分、見えるでしょうか…？チューブに添って、水滴がぼつぼつと、ついています。L（エル）字に曲がっている部分には空気が通る隙間が埋まるぐらいに、ほぼ水が溜まっています。フック部分のダンパーと呼ばれるスポンジが入っている部分の近くにも水滴が見えます。この状態になってしまうと、音の通り道が塞がったり、狭くなったりするために、聞こえにくくなったり、聞こえなくなります。

もしも、水滴が付いていたら、ティッシュでこよりを作り、チューブに差し込んで中の水分を吸い取ってください。取りにくい場合は、しばらく補聴器乾燥機に入れて水分がなくなるまで乾燥させましょう。また、水分を吸い取るための糸が入ったチューブも売っています。この時期は特に結露で困ることが多いので、

補聴器店で付け替えてもらうことをお勧めします。自分でわかる人は、「ん？おかしいな」

「変だな」と訴えることができますが、まだ自分で気づけない人や伝えられない人は周りの大人が気にかけてあげることが大切です。聞こえにくいな、変だな、と感じたら電池のチェック、チューブやフックのチェックを試みましょう。日ごろの補聴器管理をしっかりできるようになってほしいと思います。

補聴器乾燥機は効果◎



特に長時間外す場合（寝るとき）には補聴器乾燥機に入れておくことで補聴器内の水分がしっかりと取れ、補聴器を良い状態に保つことができます。

糸の入ったチューブ